学生の国際交流

和歌山県立医科大学では、学生の国際交流を積極的にすすめています。これまでの取り組みについてご説明いたします。学生の国際交流は、本学から海外の大学等への学生派遣と、海外学生の本学への受け入れを行なっております。

海外派遣には、基礎医学研修と臨床医学研修があります。基礎医学研修は、３年生を対象に夏季休暇期間中（１−２ヶ月間）に海外での基礎医学研究に取り組むことができます。令和７年度は３年生計３名がベルギー・リーヴェン大学（１名)、ドイツ・ウルム大学及びマサチューセッツ大学アマースト校（１名)、ペンシルバニア大学（２名)、韓国・亜洲大学（１名）で研究に取り組みました。臨床医学研修では、６年生が１ヶ月程度、海外臨床実習として海外の大学病院に派遣します。令和７年度は６年生１３名がチェコ・チャールズ大学（４名)、タイ・コンケン大学（６名)、米国・ハワイ大学（１名)、ポルトガル・リスボン大学（２名）で臨床実習を経験しました。

また、コンケン大学主催の ICEM（救急医学研修プログラム）に８名が参加しました。

海外派遣した学生については、帰国後、報告会で成果を発表いただいています。そこでは、海外の医学部の実態を肌で感じ、外国の医学部学生と交流し、異文化に触れ、今までの自分からは一回りも二回りも成長した生き生きとした発表を聞くことができます。今後の人生で海外での体験を生かし、更に勉学に励み、すばらしい医師になっていただけることを期待しています。

海外からの学生受け入れについては、令和７年度には医学生１８名、タイ・コンケン大学（３名)、チェコ・チャールズ大学（５名)、香港中文大学（３名)、インドネシア・ウダヤナ大学（４名)、ハワイ大学（1名)、ポルトガル・リスボン大学（２名）の医学部生を迎えました。この他、協定校以外の大学の学生も随時受け入れています。また、国際交流協定校である山東大学とは、隔年で学生の派遣と受け入れを交互に行っております。人的交流のみならず、毎年、和歌山県立医科大学−山東大学学術シンポジウムを開催し、学術交流も盛んに行なっています。山東大学との定期交流により、本学の学生が視線を海外に向け、視野を広げてくれています。

国際交流協定の締結は、９大学（山東大学、香港中文大学、マヒドン大学、コンケン大学、ブラパ大学、チャールズ大学、ハワイ大学、ウダヤナ大学、リスボン大学)、中国・西南交通大学と協定を結び、着実に増えている状況です。

国際交流センターでは、可能な限り皆さんの挑戦を後押ししていきたいと考えています。海外派遣する学生は、選抜試験をへて決定します。英語、学業成績、面接を総合判定し、すべての項目が一定基準に達している学生の中から、上位の学生を選抜します。英語の評価については、これまでは TOEFL iBT 受験が必要でしたが、より多くの学生さんに応募してもらうべく、TOEFL ITP を用いることにしました。いずれにせよ海外派遣を希望する学生は、読む、書く、聞く、話す、バランス良く勉強をして下さい。また、面接では、本当に基礎医学の研究に興味があるのか、海外で臨床実習したいと思う強いモチベーションがあるのか等の熱意・意欲も含め評価します。基礎医学研究・臨床に対する熱意・意欲がなく相手先の大学・研究室に迷惑をかけてしまうと、本学と海外の大学との国際交流が続かなくなる可能性もあります。また、時間を割いて教えてもらっているという状況を理解する謙虚な姿勢も重要ですので、語学以外の要素も考慮し選抜を行います。選抜試験の詳細、その他国際交流に関することはどんなことでも、紀三井寺の管理棟１階の国際交流センター事務まで気軽に尋ねにきて下さい。

国際交流は他大学にはない和歌山医大のストロングポイントであり、これを学生時代に経験しない手はありません。せっかく和歌山医大に入学したからには、一度ぐらい海外で生活してみませんか？ 英語が得意な学生さんはもちろん、コンプレックスのある学生さんにこそチャレンジしてほしいと願っています。

文責　国際交流センター長　川井　学　（外科学第二講座）

留学プログラムの紹介

１．海外基礎配属短期留学
対象学年：３年生
派遣期間：約２か月（夏休みを利用して）
内容：海外のラボでの基礎医学の研究
派遣先：協定校及び提携校

２．ICEM（International Challenge of Emergency Medicine）
対象学年：５年生
派遣期間：５日間
内容：救急に特化した３段階のコンペと文化交流
派遣先：タイ・コンケン大学

３．海外臨床実習短期留学
対象学年：６年生
派遣期間：４週間
内容：海外の大学関連施設での臨床実習
派遣先：協定校及び提携校

４．山東大学学生交流
対象学年：全学年
派遣期間：１週間（隔年での派遣・受入）
内容：学生交流、施設見学、文化体験
派遣先：中国・山東大学斉魯医学院

体験談： http://www.wakayama-med.ac.jp/med/kokusai/taiken.html

その他、年間を通して海外の協定大学から短期の臨床実習学生も積極的に受け入れています。